

都道府県	徳島県
高等学校名	徳島県立池田高等学校
担当教職員名	井上 琢斗
所属	探究科
電話番号	090-2789-7256
E-mail	ti.takuto.inoue@gmail.com
住所	徳島県三好市西祖谷山村今久保175

チーム名	観光班
------	-----

* 同一高等学校で複数チームエントリーを行う場合は「〇〇高等学校 Aチーム」「・・・Bチーム」など別名にして、チームごとに本計画書を作成

メンバー名	学年	性別	氏名	担当	代表
メンバー①	3	女	郷田聖奈	書記 調査 企画	○
メンバー②	3	男	樋口寛大	調査 企画	
メンバー③	3	女	上谷渉七	調査 企画	

* 1チームのメンバーは3～5名

* 担当欄にはチームにおける担当業務（企画、調査、取材等）を記入

* 代表欄にチーム代表者1名に「○」を入れる

- 修学旅行の行程案をまとめてください。

- 企画タイトル【10～20文字】

タイトル	四国まんなかガチ秘境ものがたり
------	------------------------

- タイトルを補完するサブタイトル【20～30文字】

サブタイトル	自然や地域の人との交流を通して秘境の暮らしに踏み込んでいく
--------	-------------------------------

- 企画で取り上げたい学びの体験メニュー

名称	内容
地域を探訪！価値を探す！	集落散策を行い、それぞれが新たな発見をし、材料を取り、地域の人と夕食づくりを行う。地域の魅力やSDGs思考の気づきを得る。
体験を通したより深い理解！	ラフティングやブッシュクラフトを体験する。仲間と楽しみながら、五感でSDGsなどを学び、より深い理解につなげる。
地域で協創！	地域で学んだ価値や魅力をお土産という形に残す。新たな価値を生む。そのお土産は旅行生だけでなく、地域の人々の思い出に残る形にする。
修学旅行で音楽ライブ！？	修学旅行生だけでなく、地域住民も参加できる音楽ライブを開催する。旅行生たちは優先的に席を確保されており、音楽を通して地域の人々と一体になることができる。

- 宿泊施設や方法についてまとめてください。

施設	方法
民宿	2人～4人で分宿

日程	時間	項目	内容
初日	13:30~17:30	ブッシュクラフト	木材や道具を利用し、ブッシュクラフト（材料を現地で調達して必要物資の自作を行うアウトドアスタイル）を行い、火を起こすところから取り組んでもらう。
		伝統文化体験	ほら貝吹き体験や粉挽き体験など、地域に根づいた文化に触れあう。
	16:30~20:00	夕食（BBQ）など	自分たちがつくった火で食事を調理して楽しむ。輝く星空を眺め、自然に溶け込みながら静かな時間を過ごす。
2日目	9:00~12:00	アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ラフティング ・フォレストアドベンチャー 世界レベルの激流吉野川が創りあげた深い渓谷で、仲間と協力してボートを操り、五感で大自然と対峙する。
		お土産を考える	フランス発、"自然共生型アウトドアパーク"のフォレストアドベンチャー。美しい森林に癒されながら、気分爽快なアクティビティを楽しむことができる。
	13:30~16:30	お土産を考える	ここまでの活動を通して学んだことや気づきを振り返り、地域にあるものを活用した世界に一つだけのオリジナルお土産の案を考えてもらう。自分たちで考え、必要に応じて地域の方々とは協力してもらう。
	18:30~20:00	音楽ライブ	三好市祖谷地方には数々の民謡が発掘された地。民謡やワールドミュージックにゆかりのあるアーティストをお招きし、音楽ライブを開催する（旅行生は、優先的に良い席を確保できる）。
3日目	6:00~	朝日を見に行く	☆希望者のみ。 ここでしか見られない天空の絶景を目に焼き付け、忘れられない瞬間を過ごす。
	9:30~12:20	お土産づくり	前述のオリジナルお土産を作ってもらおう。形に残すことで学びを持ち帰ることができる。「正解のない問いに挑戦する力」を身に付けてもらう。

3) 活動資料

- 事業企画の準備活動として行った調査やフィールドワークについて書いてください。

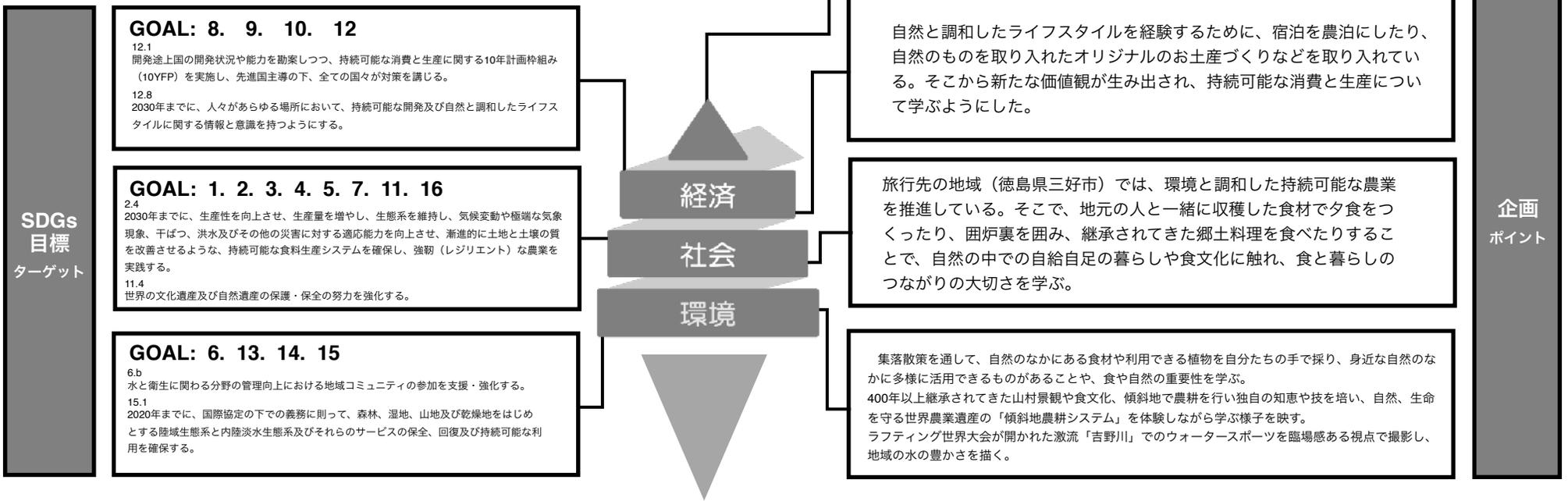
	項目	内容
1	モニターツアー（四国大学）	四国大学の留学生11名に修学旅行に含まれる集落散策やブッシュクラフトの企画・実施を行った。ブッシュクラフトでは、火をつける場所から体験してもらい、地元料理のでこまわしやそば米雑炊を地域の方と一緒に作ってもらった。楽しそうに作業を行っている姿を見たり、興味をもったことを色々質問してくれたり、「楽しかった！また来たい」と言ってもらえて嬉しかった。実際に、体験してもらうことで楽しんでもらえるのか、時間配分や天候に左右されることなど課題が明確になった。
2	傾斜地農業体験	三好市祖谷の地域活性化に力を入れている山口さんと観光客と関わりが多い猪岡さんに協力していただき、傾斜地でこえぐる作りを体験させていただいた。コエグロの作り方のコツも教えてもらった。旅行生にも、体験するだけでなく様々な気付きを得てほしいと考えた。
3	ラフティング体験	三好市のGOGO ADVENTUREさんに協力していただき、ラフティングの体験と動画撮影を行った。吉野川を知り尽くしたガイドさんとの会話やスリル溢れる激流に、時間を忘れて楽しむことができた。プランの有効性の確認にもなった。
4	ブッシュクラフト体験	WAKUWAKUHOUSE MATBAさんのご協力のもと、実際にブッシュクラフトの過程を行い、価値を探した。
5	一般社団法人そらの郷さんとの会議	にし阿波を拠点として実際に修学旅行プランを提供している、一般社団法人「そらの郷さん」に、仮で完成させたプランの内容やPR動画を見ていただき、様々なアドバイスをいただくことができた。特にお土産作りのプランについて、自分たちは、旅行生がメインとなって新しい価値を生み出してほしいと考えていたが、旅行生と地域住民でいっしょにお土産を作る、という新しい視点に気づくことができた。
6	愛媛大学へのモニターツアー誘致	愛媛大学・社会協創学部・観光文化論研究室の皆様モニターツアーの誘致を行った。（11月を目処に実施予定） 様々な要望やご意見をいただくことができた。
7	お土産づくりの試作会	アクセサリショップのぼう〜Handwerker〜さんに協力していただき、お土産になりそうなアクセサリや雑貨を試作りし、経費の設定などを行った。 （しいたけ祖谷リングや吉野川の石を使ったミニチュアなど）

- 事業企画の参考とした文献・資料について記入してください。

	文献・資料	タイトル
1	観光パンフレット	にし阿波で体感！千年のかくれんぼ～分け入ることに、時は遡り～
2	観光パンフレット	徳島県観光素材集 TOKUSHIMA
3	観光パンフレット	神秘の世界をめぐる旅 秘境とりっぶ 三好市まるごとマップ
4	観光情報誌	るるぶ特別編集 一度に行ける！秘境への旅とこんびら参り 三好 琴平
5	観光コンセプトブック	千年のかくれんぼ 山と暮らすこと
6	三好市観光基本計画	第2次 三好市観光基本計画
7	書籍	にし阿波～剣山・吉野川観光園整備計画 にし阿波 剣山・吉野川観光園
8	書籍	徳島経済研究所『（改訂版）徳島が好きになる本』
9	書籍	新・観光立国論
10	書籍	日本文化の風土
11	論文	持続可能な観光に関する政策動向とLCA研究の方向性

4) 未来レシピ

school 学校	都道府県 徳島県	市町村名 三好市	校名 徳島県立池田高等学校	title 企画名	四国まんなか“ガチ秘境”ものがたり
team チーム名	観光班			member メンバー	郷田聖奈 樋口寛大 上谷渉七
issue 課題	過疎化、伝統・観光産業の担い手不足			partner ships 協力者	GOAL: 17 久保進さん（太陽がいっぱい） 太田由美さん、近藤教仁さん（三好市役所 まるごと三好 観光戦略課） 出尾宏二さん、松浦英人さん、福永晃大さん（一般社団法人そらの郷） WAKUWAKUHOUSE MATBA



plan
修学旅行
企画解説

200文字

私たちの作った観光プランは、主に2つのポイントがあります。1つは、商品ではなく経験・体験を売ることです。観光中の経験は、そこでしか味わえない感動をもたらします。それで、本当に売べきなのは地域に密着した経験・体験だと考えました。2つ目のポイントは、アクティビティや音楽ライブなどをプランに取り入れ、活動的な内容にした点です。これは、田舎への「退屈そう」という拒否反応を無くす仕掛けとなっています。

参考・補足資料などがあれば記載してください。(画像やデータの貼り付け可能)

※情報が多い場合、本紙をコピーして3枚まで使用可

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

● 様々な体験



↑傾斜地農業体験・こえぐる作り



地域の人と夕食づくり↑

伝統文化体験↓



農業体験

↓ラフティング体験



5) 添付資料

参考・補足資料などがあれば記載してください。(画像やデータの貼り付け可能)

※情報が多い場合、本紙をコピーして3枚まで使用可



↑四国大学留学生へのモニターツアーの様子↑



↑「一緒にお客さんをお見送りしよ!!」
初めて会った人にも気さくに話かけてくれる
地域の人たちとの出会い



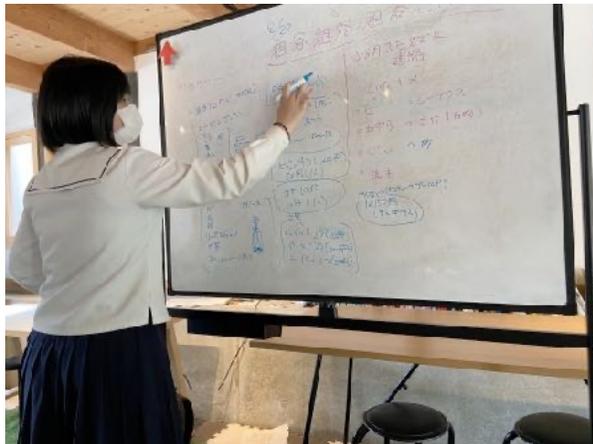
修学旅行についてプロの方と話し合い、
内容を改善し目的などを明確にしていく。



そらの郷さんにもご協力いただきつつ、
愛媛大学のゼミ生にプレゼンテーション

参考・補足資料などがあれば記載してください。(画像やデータの貼り付け可能)

※情報が多い場合、本紙をコピーして3枚まで使用可



↑お土産作りの試作会↑



初めは、「しいたけって祖谷リングにするには大きすぎるんじゃない」と断念していたしいたけ祖谷リングも、しいたけに詳しい太陽がっばいの久保さんに原木しいたけのことを教えていただいたり、アクセサリー作りを行っているぼう〜Handwerker〜さんに協力していただいたり、地域の方々の支えがあった。

↓

旅行生にも旅の経験を通して、SDGsについて知り、地域魅力に気づき、新しい価値観でオリジナルのお土産を作ってもらおうと考えた。新たなアイデアを形にする難しさや地域の人と協力していく過程の大切さを学んでほしい。お土産は旅行生だけでなく、協力していただく地域の方にとっても思い出に残るものとなるようにしたい。

←しいたけにカビが生えてしまったり、中から虫が出てきたり、問題も幾つか発生した。

(お土産作りは成功が全てではなく、失敗もある。その失敗を次の考えにつなげることを大切にしよう)